

平成26年度全国学力・学習状況調査結果と指導改善計画〔国語〕 北方小学校

本年度通過率

	国語A	国語B
本校	68.9	51.7
広島県	75.9	58.3
全国	72.9	55.5

本年度の結果について

- A問題は68.9% B問題は51.7%の通過率となっている。この結果から、基礎的基本的な内容にも課題が見られる。中でも、読むことの領域は、47.6%の通過率となっており、全国平均を9.7%下回っている。
- 昨年度は、「書くこと」「言語についての知識・理解・技能」に課題が見られた。しかし「書くこと」を意識した学習活動や授業改善により成果が見られた。

成果と課題

教科学力調査から

【定着している内容】

- 「～たり，～たり」という表現に直して書く 100% (全国通過率差+25.1%)
- 文の意味のつながりを捉え、適切なものを選択する 100% (全国通過率差+16.9%)

【課題】

- ☆故事成語の使い方として適切なものを選択する。
(百聞は一見にしかず) 0% (全国通過率差-49.9%)
(五十歩百歩) 16.7% (全国通過率差-39.1%)
- ☆詩の対する山田さんの解釈として適切なものを選択する 16.7%
(全国通過率差-31.8%)

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。肯定的回答 100% (全国通過率差+29.3%)
- 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。肯定的回答 83.3% (全国通過率差+21.9%)

【課題】

- ☆国語は好きですか。肯定的回答 16.7% (全国通過率差-42.5%)
- ☆読書は好きですか。肯定的回答 50% (全国通過率差-20.0%)

課題等に対応した改善指導内容及び方法(授業)

- ☆中高学年の指導において、授業だけでなく、日記やスピーチ、家庭学習においても、ことわざや慣用語、故事成語を実際に用いることを課題として取り組ませる。また、それらの使い方について、どのような使い方が適切か日常生活の中で考えさせるようにする。
- ☆詩の内容や基本的な表現の工夫を捉えさせるために、具体的な事例を示しながら詩を読み取らせるようにする。また、複数の詩を比べて読ませ、多様な表現の工夫に気づかせるようにする。
- ☆読解の場面で必ず書く活動を取り入れ、自分の考えを整理させる。その後、ペア学習で互いのよさや違いに気づかせ、意見をノートに記録させる。指導者は考えや表現のモデルを示したり、考えのよさを評価したりして児童の自信を高めさせる。通過率が30%未満の児童については、授業やドリルタイムの中で、短い文章の読解から取り寄せ、短い時間で文章を読んだり問われていることを理解したりする力を身につけさせる。
- ☆低学年から読書習慣をつけるよう、保護者を巻き込んだ指導を行ったり、読書記録の取り組みを継続したりする。また、同じ作者やテーマに即して本や文章の紹介を行い、読書の幅を広げさせる。

平成26年度全国学力・学習状況調査結果と指導改善計画〔算数〕三原市立北方小学校

本年度通過率

	算数A	算数B
本校	81.4	56.4
広島県	80.7	60.1
全国	78.1	58.2

本年度の結果について

- A問題は81.4% B問題は56.4%の通過率となっている。この結果から、基礎的基本的な内容については定着が図られていると考えられる。一方、活用問題では、全国平均を1.8ポイント下回っている。
- 昨年度は、数量関係（比例・割合）に課題があった。問題文をもとに線分図や関係図をかいて考えさせる学習活動や授業改善により多少成果が見られたものの、依然として課題は残っている。

【数量関係】（昨年度 A75.0% B52.4% 今年度A100% B53.3%）

成果と課題

教科学力調査から

【定着している内容】

- 二つの数量の関係を□、△などの記号を用いて式に表す。
100%（全国通過率差+16.9%）
- 示された場面から基準量と比較量を捉え、倍を求める。
100%（全国通過率差+19.0%）

【課題】

- ☆分数の相等及び大小について理解している。33.3%（全国通過率差-39.2%）
- ☆示された情報を基に、条件に合う時間を求める。16.7%（全国通過率差-21.9%）

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。
肯定的回答 100%（全国通過率差+20.6%）
- 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。
肯定的回答 100%（全国通過率差+16.6%）

【課題】

- ☆算数の勉強は好きですか。肯定的回答 16.7%（全国通過率差-49.4%）
- ☆算数の授業の内容はよく分かりますか。
肯定的回答 66.7%（全国通過率差-12.9%）

課題等に対応した改善指導内容及び方法（授業）

- ☆分数や小数の学習の際には、具体物、図、数直線を用いて表し、大きさを比べさせる経験を繰り返し積みませ、1単位量と比較させながら、「半分より大きい」、「1より大きい」といった数量感覚を身につけさせる。また、図や数直線の意味を説明させる活動を通して、分数や小数の意味の理解を深めていく。
- ☆問題解決に必要な情報を取捨選択させる授業を仕組み、情報や条件を図式化し、整理しながら考えさせるようにする。
- ☆算数的活動を取り入れ、算数の楽しさやおもしろさを体感させる。また、間違いをおそれずに自信を持って自分の意見を発表したり、反復練習を通して「わかった!」「できた!」という喜びを感じたりすることができるようにする。
- ☆当該学年で求められる力を確実に定着させる。また、新しい単元の導入では、既習内容を活用して問題解決をさせる授業を継続する。さらに、本時の問題解決にどんな既習内容が使えたかを振り返らせることで、学習のつながりを児童にも意識させる。